

武蔵野の森総合スポーツプラザ経営戦略委員会の総括について

令和5年7月

東京都生活文化スポーツ局

目次

1	はじめに	… 2
2	委員会の概要	
	(1) 委員会の設置目的	… 2
	(2) 委員会の開催実績	… 2
	(3) 構成員	… 2
3	武蔵野の森総合スポーツプラザのこれまでの運営状況	
	(1) 施設規模	… 2
	(2) 沿革	… 2
	(3) 施設の利用状況	… 3
	ア 団体利用の実績	
	イ 個人利用の実績	
	(4) 経営状況	… 4
	ア 主な大規模イベント	
	イ 指定管理料と収支	
	(5) 事業実施状況	… 6
	ア 地域貢献事業	
	イ スポーツ振興事業	
	ウ 自主事業	
4	委員会を通じた成果	…12

1 はじめに

武蔵野の森総合スポーツプラザ経営戦略委員会は平成 22 年 11 月に設置されて以降、建設準備の構想段階から施設の安定的な経営に至るまで、幅広い視点から検討を行ってきた。令和 5 年 3 月 31 日に第 1 期の指定管理期間が終了したことを受けて、これまでの委員会の取り組みや成果を総括する。

2 委員会の概要

(1) 設置目的

武蔵野の森総合スポーツプラザについて、東京都、地元 3 市（三鷹市、府中市及び調布市）及び関係団体が連携し、利用促進、稼働率の向上等について幅広い視点から検討することにより、施設の安定的な経営に資することを目的として設置。

(2) 開催実績

平成 22 年 11 月から令和 5 年 7 月にかけて全 14 回開催（別紙参照）

(3) 構成員

東京都生活文化スポーツ局スポーツ施設部長

東京都生活文化スポーツ局スポーツ施設部施設経営担当課長

三鷹市企画部企画経営課長

府中市政策経営部政策課長

調布市行政経営部企画経営課長

公益財団法人東京都体育協会事業部長

※令和 5 年 4 月 1 日時点

3 武蔵野の森総合スポーツプラザのこれまでの運営状況

(1) 施設規模

所在地：東京都調布市西町 290 番 11

敷地面積：約 33,500 m²

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

建築面積：約 27,200 m²

建物延面積：約 49,120 m²（メインアリーナ棟 約 27,600 m² 地上 4 階・地下 1 階）

（サブアリーナ・プール棟 約 21,520 m² 地上 3 階・地下 1 階）

(2) 沿革

年 月	事 柄
平成 21 年 4 月	「武蔵野の森総合スポーツ施設基本構想」公表
平成 22 年 8 月	「武蔵野の森総合スポーツ施設基本計画」策定
平成 29 年 3 月	竣工
平成 29 年 11 月	東京スタジアムグループによる第一期指定管理開始 (平成 29 年 11 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

年 月	事 柄
平成 29 年 11 月 25 日	武蔵野の森総合スポーツプラザ開業
令和元年 9 月～11 月	ラグビーワールドカップ 2019 (試合会場は東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザはホスピタリティスペースとして利用)
令和 2 年 2 月	新型コロナウイルス感染症の影響によりジム・プールエリア休業
令和 2 年 3 月	新型コロナウイルス感染症の影響により全館休館
令和 2 年 9 月	団体利用再開
令和 2 年 10 月	ジム・プールエリア個人利用再開
令和 2 年 12 月	新型コロナウイルス感染症の影響により団体利用の新規受付中止及びジム・プール個人利用一部中止
令和 3 年 3 月	団体利用新規受付再開及びジム・プール個人利用再開
令和 3 年 4 月	東京 2020 組織委員会の借用期間によりメインアリーナの団体利用中止及び新型コロナウイルス感染症の影響により一般利用中止
令和 3 年 7 月～8 月	東京 2020 大会 (オリンピック：バドミントン・近代五種※一部種目のみ パラリンピック：車椅子バスケットボール)
令和 3 年 11 月	団体利用（メインアリーナ以外）及びジム・プール個人利用再開
令和 3 年 12 月	団体利用（メインアリーナ）再開
令和 5 年 4 月	東京スタジアムグループによる第二期指定管理開始 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日)

(3) 施設の利用状況

ア 団体利用の実績

年度		メインアリーナ	サブアリーナ	多目的スペース	屋内プール		会議室 (※2)
					25m	50m	
平成 29 年度 (※1)	利用者数	177,866 人	6,258 人	1,816 人	1,955 人	644 人	164 人
	稼働率	50.6%	50.0%	22.7%	16.9%	17.5%	-
平成 30 年度	利用者数	873,258 人	22,610 人	687 人	24,033 人	4,907 人	978 人
	稼働率	77.2%	81.5%	40.2%	48.6%	65.6%	-
令和元年度	利用者数	672,217 人	27,093 人	278 人	19,178 人	7,211 人	573 人
	稼働率	86.6%	77.5%	50.6%	49.5%	65.9%	-
令和 2 年度	利用者数	51,362 人	7,921 人	54 人	5,024 人	2,594 人	195 人
	稼働率	52.1%	52.4%	7.6%	32.3%	40.2%	-

年度		メインアリーナ	サブアリーナ	多目的スペース	屋内プール		会議室 (※2)
					25m	50m	
令和3年度	利用者数	102,736人	10,487人	24人	6,381人	2,730人	358人
	稼働率	56.0%	70.6%	18.0%	35.4%	52.7%	-
令和4年度	利用者数	400,321人	35,106人	344人	14,322人	5,808人	1,158人
	稼働率	70.0%	87.8%	25.7%	37.5%	46.9%	-

※1 平成29年度は平成29年11月25日～平成30年3月31日までの数字

※2 会議室は利用者数のみ（4室合計）

イ 個人利用の実績

年度	トレーニングルーム・屋内プール	月額フリーパス	合計
平成29年度(※1)	33,154人	4,238人	37,392人
平成30年度	138,058人	28,396人	166,454人
令和元年度	129,790人	29,554人	159,344人
令和2年度	24,318人	4,418人	28,736人
令和3年度	42,520人	10,212人	52,732人
令和4年度	118,532人	29,100人	147,632人

※1 平成29年度は平成29年11月25日～平成30年3月31日までの数字

(4) 経営状況

ア 主な大規模イベント

年度	主な開催イベント等
平成29年度	11月25日 開館（オープニングイベント実施） 12月21日～24日 第86回全日本フィギュアスケート選手権
平成30年度	6月8日～10日 車いすバスケットボール 三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2018 9月11日～16日 ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2018 バドミントン選手権大会 9月29日、30日、10月1日～7日 楽天・ジャパン・オープン・テニス・チャンピオンシップス2018 11月18日 第42回全国育樹祭式典 12月23日～29日 Softbank 第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会 （ウインターカップ） 1月5日～7日、12日、13日 春の高校バレー 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会

年度	主な開催イベント等
令和元年度	6月7日～9日、11日～13日 FIVB バレーボールネーションズリーグ 2019 6月27日～30日 UIPM2019 ワールドカップ・ファイナル東京大会 (近代五種：水泳・フェンシング) 7月23日～28日 ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン 2019 バドミントン選手権大会 8月29日～9月1日 車いすバスケットボール 三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2019 9月20日～11月1日 ラグビーワールドカップ 2019 (ホスピタリティ・スペース等として使用) 12月23日～29日 Softbank 第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウインターカップ) 1月5日～7日、11日、12日 春の高校バレー 第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会
令和2年度	※東京 2020 大会延期 12月11日～13日 令和2年度天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 12月23日、24日 Softbank 第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウインターカップ) 1月4日～7日 第1回全国U15バスケットボール選手権大会 (Jr ウインターカップ)
令和3年度	7月24日～8月5日 東京 2020 オリンピック競技大会 (バドミントン・近代五種一部種目会場) 8月25日～29日 東京 2020 パラリンピック競技大会 (車いすバスケットボール会場) 12月25日～30日 第75回全日本総合バドミントン選手権大会 1月4日～8日 第2回全国U15バスケットボール選手権大会 (Jr ウインターカップ)
令和4年度	12月9日～11日 令和4年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 12月24日～30日 第76回全日本総合バドミントン選手権 1月4日～8日 第3回全国U15バスケットボール選手権大会 (Jr ウインターカップ)

イ 指定管理料と収支

年度	指定管理料 (単位：千円)	決算収支 ※ (単位：千円)
平成 29 年度	111,132	—
平成 30 年度	195,369	
令和元年度	362,006	
令和 2 年度	540,698	18,000
令和 3 年度	576,766	96,000
令和 4 年度	223,144	▲96,000 (見込み)

※令和2年度以降の決算収支については、東京都総務局の方針に基づき東京都生活文化スポーツ局のホームページで公表

(5) 事業実施状況

ア 地域貢献事業

地域の賑わい・活性化に貢献することを目的とした事業を企画、立案及び実施

事業	平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	令和元年度 実績	令和 2 年度 実績	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 実績
3 市事業連動企画 「ラグビープラザ」	—	1 回	1 回 857 人	1 回 112 人	1 回 203 人	0 回
味の素スタジアム・ 武蔵野の森感謝デー	—	1 回 38,110 人 (※1)	1 回 11,280 人	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	1 回 オンライン開催	1 回 3,870 人
RWC2019 への 機運醸成事業	—	1 回 517 人	1 回 99 人	—	—	—
RWC2019/東京 2020 大 会に向けたボランティア の推進	—	1 回 79 人	1 回 83 人	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	1 回 2 人	1 回 60 人
パラリンピックスポーツ 体験ツアー	—	—	1 回 1,088 人	—	—	1 回 480 人
あすチャレ!アカデミーに よるイベント主催者向け講座	1 回 44 人	1 回 62 人	中止	—	—	—
あすチャレ!アカデミー によるボランティア講座	—	1 回 33 人	1 回 83 人	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	1 回 57 人
多摩地域における ダイバーシティ理解促進講座	1 回 23 人	1 回 10 人	1 回 83 人	—	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	1 回 17 人
大学と連携した 地域の語学力強化	—	2 回 33 人	1 回 16 人	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	2 回 24 人
地域の自治体 P R	1 回 116 人	—	不定期	不定期	新型コロナウ イルス感染症 の影響により 中止	30 回

事業	平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	令和元年度 実績	令和 2 年度 実績	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 実績
中学生や特別支援学校 生徒の職場体験	—	77 人	55 人	29 人	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	1 回 10 人
食育教育「勝ち飯」 プログラム	2 回 162 人	2 回 774 人	1 回 93 人	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	1 回 98 人
3 市歴史探訪 スタンプラリー	—	1 回	2 回	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	1 回
多摩地域の小中学生の スポーツ力強化プロジェクト	1 回 16 人	1 回 100 人	1 回 60 人	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	1 回 27 人	1 回 51 人
リフレッシュ体操スクール	4 回 321 人	2 回 4,265 人	3 回 342 人	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	4 回 102 人	33 回 3,810 人
ボッチャ体験会	—	1 回 229 人	1 回 332 人	—	—	—
カルチャースクール 「武蔵野の森手作り教室」	2 回 32 人	2 回 41 人	2 回 71 人	1 回 27 人	1 回 24 人	4 回 85 人
広域避難訓練	—	1 回 5 人	1 回 10 人	—	—	—
いざという時に役に立つ 防災・減災講座	—	1 回 5 人	1 回	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止	1 回 233 人	1 回 367 人

※1 味の素スタジアム入場者分を含む

【地域貢献事業にかかるイベントが開催された際の様子（令和4年度）】

①むさプラ・味スタ共催イベント「味の素スタジアム感謝デー」（味の素スタジアム・武蔵野の森感謝デー）

令和4年11月



②むさプラ語学教室(大学と連携した地域の語学力強化)：令和4年9月、令和5年2月



③「フレッシュベーカーリー すまいる」の販売(地域の自治体 PR) ※定期的に毎週火曜日に販売



④近隣中学生や特別支援学校生徒の職場体験：令和4年11月



⑤「むさプラ スポーツパーク」走り方教室(多摩地域の小中学生のスポーツ力強化プロジェクト)



令和4年10月

⑥カルチャースクール「武蔵野の森手作り教室」：令和4年4月、9月、12月、令和5年2月



⑦いざという時に役立つ防災・減災講座：令和5年2月



イ スポーツ振興事業

「東京都スポーツ推進総合計画」の基本理念、施設運営計画及び基本方針に基づく事業

事業	平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	令和元年度 実績	令和 2 年度 実績	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 実績
大人のフットサル教室	1 回 14 人	12 回 344 人	9 回 240 人	1 回 23 人	8 回 161 人	12 回 298 人
卓球教室	各 1 回 キッズ・子ども 15 人 親子 18 人 シニア 25 人	各 10 回 キッズ・子ども 39 人 親子 31 人 シニア 35 人	各 3 回 キッズ・子ども 18 人 親子 18 人 シニア 17 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	各 4 回 キッズ・子ども 22 人 親子 35 人 シニア 25 人
子ども体操教室	1 回 33 人	24 回 414 人	27 回 618 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	10 回 89 人	22 回 154 人
武道体験教室	空手 116 人	空手 115 人 剣道 101 人 視覚障害者 柔道 85 人	剣道 118 人 視覚障害者 柔道 105 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	剣道 61 人	3 回 115 人
大人向けバレーボール教室	—	2 回 27 人	4 回 77 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	2 回 24 人	12 回 281 人
ニュースポーツプラザ	—	1 回 28 人	1 回 49 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1 回 58 人	1 回 86 人
ボッチャ体験会	—	1 回 83 人	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1 回 99 人	1 回 102 人
オリンピック卓球教室	1 回 46 人	4 回 109 人	2 回 57 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1 回 16 人	4 回 104 人
スポーツ観戦 推進プロジェクト	1 回 50 人	1 回 66 人	1 回 74 人	—	1 回 25 人	1 回 1,200 人
メディア発信事業 (※1)	1 回	1 回	1 回	1 回	スポーツ振興事業、地域貢献事業等で告知	—
パラリンピアン交流事業 「パラリンピアンに学ぼう」	1 回 20 人	1 回 202 人	1 回 388 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	1 回 1,200 人
パラアスリートと一緒に 泳ごう！	—	1 回 7 人	—	—	—	2 回 75 人

事業	平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	令和元年度 実績	令和 2 年度 実績	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 実績
パラ水泳ワンポイント レッスン	—	—	4 回 11 人	新型コロナウイ ルス感染症の影 響により中止	新型コロナウイ ルス感染症の影 響により中止	—
車いすバスケットボール 体験会	—	1 回 136 人	1 回 300 人	新型コロナウイ ルス感染症の影 響により中止	1 回 58 人	2 回 201 人
障害者のためのスポーツ 発見講座	—	1 回 50 人	1 回 10 人	—	—	2 回 37 人
「チャレンジカップ」 タイアップ競技体験会	—	1 回 140 人	—	—	—	—
パラリンピアン卓球 イベント	—	1 回 122 人	1 回 33 人	新型コロナウイ ルス感染症の影 響により中止	1 回 9 人	1 回 17 人
ダイバーシティ推進事務局の運営	常設	常設	常設	常設	常設	常設

※1 当施設が主体となって実践する活動を注目率の高いメディアで紹介することで、様々な活動が多摩地域や都全体に広がっていくことを目指す事業

ウ 自主事業

指定管理者による、独自の創意工夫を活かし企画立案を行った事業

事業	平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	令和元年度 実績	令和 2 年度 実績	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 実績
ヨガ系 (ヨガを取り入 れたエクササイズ)	174 回 1,175 人	573 回 6,705 人	422 回 6,438 人	130 回 803 人	192 回 1,308 人	438 回 3,795 人
コンディショニング系 (健康体操、太極拳等)	82 回 462 人	426 回 4,325 人	326 回 3,753 人	138 回 1,004 人	223 回 1,527 人	485 回 3,928 人
筋力トレーニング系 (ピラティス、バレトン等)	97 回 484 人	342 回 3,318 人	498 回 4,532 人	77 回 444 人	135 回 821 人	294 回 2,281 人
有酸素系 (エアロビクス等)	71 回 355 人	339 回 3,579 人	260 回 3,350 人	4 回 11 人	190 回 963 人	357 回 2,906 人
ダンス系 (ZUMBA、ヒップホップ等)	165 回 728 人	566 回 5,806 人	509 回 5,480 人	127 回 657 人	289 回 1,809 人	579 回 4,665 人
成人向けプール (ビギナー等のコース別)	74 回 798 人	382 回 5,016 人	350 回 5,480 人	77 回 761 人	229 回 2,596 人	482 回 6,848 人
子供向けプール (年齢、 泳力に応じた水泳教室)	238 回 4,147 人	1,003 回 21,762 人	904 回 21,986 人	354 回 8,036 人	498 回 9,590 人	1,016 回 21,246 人
インボディ (体組成成分分析)	121 人	1,275 人	1,095 人	248 人	465 人	1,002 人
キッズ系 (子どもバレエ)	—	78 回 317 人	76 回 471 人	26 回 181 人	40 回 123 人	84 回 414 人
その他 (お楽しみレッス ンスタジオプログラム等)	—	35 回 390 人	119 回 1,239 人	0 回 0 人	0 回 0 人	102 回 932 人

3 経営戦略委員会を通じた成果

委員会における意見や検討内容を施設の取組として反映し、施設運営の成果につなげることができた。委員会解散後も、下記のとおり取り組んでいく。

意見	取組	成果	今後の取組
【地域活性化に貢献する施設運営について】			
第1回(平成22年11月19日) ・市内に大きな施設がなく、コンサート等の開催といったニーズに応えていきたい。(三鷹市) ・様々なイベント利用による地域・地元の活性化も施設の目的の一つ。まちづくりにつながる利用の方向を従来型ではない形で検討(東京都)	優先受付 の対象として、世界大会、全国大会、東京都大会等に加え、「 <u>これら以外の大規模行事</u> 」を含むこととした。	国際大会等の開催により多摩のスポーツ振興に貢献するだけでなく、コンサート等の開催により地域の賑わいの創出に寄与した。 また、幅広い用途で利用いただくことで地域のニーズに応えた施設運営に繋がった。	都立スポーツ施設の「戦略的活用」の考えに基づき、 <u>多摩のスポーツ拠点としての更なる活用を推進するとともに、エンタメ等の多様な利用を促進していく。</u>
【利用料金について】			
第1回(平成22年11月19日) ・主催者や利用者の負担を軽減する料金構成を検討することが稼働率の向上において重要(府中市) 第7回(平成29年1月12日) ・メインアリーナでの興業利用等により収入を得て、アマチュアスポーツは利用しやすい料金を設定するというバランスのとれた運営を行っていく(東京都)	大規模行事を優先受付の対象に含め、高い収益が見込めるコンサートなどの興行イベントの誘致を積極的にを行い、収益力の強化を図るとともに、アマチュアスポーツには、 <u>地域住民が利用しやすい料金を設定した。</u>	多摩のスポーツ拠点として、都民により手軽にご利用いただくとともに、指定管理者により利用者ニーズをとらえた事業が実施されることで、スポーツ参加の機会の提供等に貢献することができた。 一方でコンサート等を積極的に誘致し、収益力強化を図ることで、安定した施設経営を実現した。	地域スポーツの拠点として <u>更なるスポーツ実施率の向上や健康増進に寄与する。</u> また、第二期指定管理期間に関しても、第一期と同様に東京スタジアムグループが施設の管理運営を行うため、これまで培ってきた運営ノウハウを生かしながら <u>今後も安定的な経営と幅広い施設活用の両立を図っていく。</u>
【多目的スペースの活用について】			
第3回(平成24年3月14日) ・すまいるパン(近隣の知的障害者援護施設で調理)をイベント時に多目的スペースへ出店してはどうか(調布市)	展示会や各種教室の開催、物品販売等のイベント開催が可能な <u>多目的スペースを設置した。</u>	地域貢献事業のカルチャースクールで利用される等、地域の賑わい創出や活性化に資するとともに、様々な用途で使用されることで、多様な利用者呼び込むことができた。	多目的スペースでの各種イベントの開催により、スポーツだけではなく、 <u>アート等の芸術文化の盛り上げや文化発信拠点としての役割を果たすとともに、三市も積極的に活用して地域の魅力向上や更なる活</u>

意見	取組	成果	今後の取組
<p>第4回(平成24年6月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ以外の利用の中で施設全体をどう盛り上げていくか誘導する役割が大事(三鷹市) ・もともと道の駅のような直売所という発想。不特定多数の人が使う部分があってもいいのでは。(府中市) 		<p>※「すまいるパン」は館内で販売を実施</p>	<p><u>性化に貢献</u>していく。</p>
【地域貢献事業の導入について】			
<p>第8回(平成29年7月11日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基地跡地利用といった経緯を踏まえ、地元の優先枠や味の素スタジアムでの利用枠的なものを引続き要望(府中市) ・運用面での工夫で、現在行われているような枠組み、またはそれ以上のものを要望(調布市) 	<p>都立体育施設では初めて「<u>地域貢献事業</u>」を指定管理者の業務として導入し、地域の賑わいや活性化に貢献することを目的とした事業を企画・立案・実施をすることとした。さらに地域貢献事業を優先受付の対象に含めた。</p>	<p>三市の意見を取り入れながら、「3市事業連動企画・ラグビープラザ」や各種ボランティア講座・パラスポーツ体験会といった、地域特性を活かした事業を展開した。また、ラグビーワールドカップや東京2020大会の開催を契機としたボランティア文化の定着やパラスポーツの理解促進等にも貢献した。</p>	<p>引続き地元三市を中心とした地域活性化や地域課題の解決を図る事業を推進・実施していく。さらに地元三市、近隣学校や企業等、東京都パラスポーツトレーニングセンターとの連携等により、<u>ダイバーシティの理解促進や共生社会の確立にも取り組んでいく。</u></p>
【レガシーの継承について】			
<p>第12回(令和4年6月21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会でパラスポーツを含めた機運の盛り上がりもあり、指定管理者の事業の中で実施してほしい(調布市) <p>第13回(令和5年1月19日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デフリンピック開催にあたり、ボランティアの連携等、東京2020大会で培われた基礎があるので、地元も一緒になって進めていく(府中市) 	<p>第二期の指定管理者募集において、提案課題に「様々な主体と連携した、東京2020大会レガシーを活用したスポーツイベントの実施」や、「障害者の施設利用を促進する事業」、「周辺地域等のボランティア文化の定着に寄与する事業」の実施等を盛り込んだ。</p>	<p>レガシーを活用した大型スポーツ大会等の積極的な誘致・開催、地域と連携したバドミントンや車いすバスケットボール等の普及活動、パラスポーツ体験イベントの実施、スポーツイベントでのボランティア参加推進等、レガシーを体感できる事業の展開について提案があった事業者を第二期の指定管理者として選定した。</p>	<p>第一期での経験を活かし、様々なスポーツ大会の開催や、地域貢献事業等での各種スポーツ教室、パラスポーツ体験会等の実施により、<u>地域の継続的なスポーツへの興味喚起や障害者の施設利用を促進し、レガシーを継承・活用</u>していく。また、2025年のデフリンピック開催等に向けて、三市や関係団体と連携して多摩地域における機運醸成に取り組んでいく。</p>